



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

コード番号 7459 URL <https://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 左近 祐史 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,483,654	2.5	42,853	6.4	53,987	6.6	27,633	1.3
2019年3月期第3四半期	2,422,742	1.3	40,287	17.8	50,626	14.8	27,270	△1.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 46,335百万円 (73.5%) 2019年3月期第3四半期 26,702百万円 (△45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	126.78	119.28
2019年3月期第3四半期	122.20	115.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,735,543	600,208	28.7	2,375.05
2019年3月期	1,617,911	592,848	30.7	2,233.52

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 498,674百万円 2019年3月期 496,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	18.00	-	20.00	38.00
2020年3月期	-	20.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 2019年5月15日に公表した配当予想に変更はありません。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,242,000	1.9	51,000	2.4	65,000	1.7	38,800	12.9	179.65

(注) 2019年7月31日に公表した業績予想に変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	244,524,496株	2019年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	34,560,419株	2019年3月期	22,059,478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	217,964,598株	2019年3月期3Q	223,159,305株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページの「IR資料室」に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、社会環境の変化を見据えたビジョン「2022メディパル中期ビジョン Change the 卸 Future - 未来への変革」を新たに策定し、2019年5月15日に発表いたしました。既存事業のさらなる革新を進めるとともに、新規事業は「創造」から「拡大」へとステップアップいたします。同時に、様々な分野の企業とのパートナーシップを通じて社会と顧客に貢献する新たな枠組みを構築し、収益基盤のさらなる拡大と持続的な成長を実現してまいります。

この取組みの一環として、2019年11月、Promethera Biosciences S.A.（ベルギー王国 モン・サン・ギバール市、以下、プロメセラ）と業務提携契約を締結いたしました。メディパルの持つ超低温下での細胞医薬品の流通に関する機能とノウハウを活用し、プロメセラの革新的な開発製品の治験段階から上市後の供給に至るまでの安定的な流通体制の構築を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高2兆4,836億54百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益428億53百万円（前年同期比6.4%増）、経常利益539億87百万円（前年同期比6.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益276億33百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等の販売は、2019年10月1日に実施された薬価改定の影響があったものの、抗がん剤をはじめとする新薬が伸長したことにより、堅調に推移いたしました。

本事業では、国民にとって安全・安心な医療を支える社会インフラとして、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図るべく、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みを行っております。

物流基盤の強化については、高品質・高機能かつ災害対策を施したALC※1・FLC※2の全国展開を進めております。また、厳格な温度管理が必要な再生医療等製品などを安全・安心・効率的にお届けする目的で、超低温を含む全温度帯に対応できる物流プラットフォームを構築しております。

営業面の強化については、約2,300名のMR認定試験合格者をAR※3として任命し、高い専門知識とスキルを活かした情報提供活動に取り組んでおります。

デジタルヘルスケア分野での新たな取組みについては、メディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区）と、その子会社である株式会社Doctorbook（東京都千代田区）との協業により、医療情報ポータルサイト「Clinical Cloud by MEDIPAL」を展開し、医療従事者へ最先端の医療情報を提供しております。

また、厚生労働省が策定した「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に基づき、個々の製品特性と価値に見合った価格交渉を行っております。

さらに、2019年4月より信頼性統括部を設置し、医薬品の適正使用の推進、並びに高品質の流通管理の実現に努めております。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は1兆6,354億52百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は214億47百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

[用語解説]

- ※1 ALC（Area Logistics Center）とは、医療用医薬品や医療材料などを扱う高機能物流センターで、主に調剤薬局、病院、診療所に商品を供給しております。
- ※2 FLC（Front Logistics Center）とは、ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点であります。
- ※3 AR（Assist Representatives）とは、MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称であります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、女性の社会進出などによって多様化する消費者ニーズにあわせた高付加価値商品は堅調に推移いたしました。また、台風や大雨などの度重なる自然災害や、気候要因による季節商品の不調、インバウンド需要の環境変化、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要とその反動減などによる様々な影響を受けることとなりました。また、業界全体の成長を妨げかねない人手不足は、人件費や物流費の上昇を伴い、随所においてその影響がさらに大きくなっております。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社PALTAC（大阪府中央区）では、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを行っております。また、小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時はもとより有事の際にも「安定供給」できる体制により、小売業ひいては消費者のみならずローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

今期は、首都圏での出荷能力増強、及び飛躍的な生産性向上を目的に、AI・ロボット等を活用した新物流モデルを採用した「RDC※埼玉」（埼玉県北葛飾郡杉戸町）を2019年11月に稼働させたほか、首都圏における最適出荷体制の構築と経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため「RDC東京」（千葉県浦安市）の売却を決定するなど、将来の事業基盤強化に向けた取組みを計画どおり進めております。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は7,983億96百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は193億89百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

[用語解説]

※ RDC（Regional Distribution Center）とは、化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センターで、小売業に商品を供給しております。

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

動物用医薬品の販売は、畜産向け市場においてワクチンや飼料添加物の積極的な取組みを行ったこと、また、コンパニオンアニマル※向け市場における独自の動物病院向けWEB発注情報システム「MP+（エムピープラス）」の利用拡大や、自社企画品の取組みなどにより、堅調に推移いたしました。

食品加工原材料の販売は、提案営業の推進により新規取引が拡大し、堅調に推移いたしました。

これらの結果、動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業における売上高は525億64百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は16億46百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

[用語解説]

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,025	191,854
受取手形及び売掛金	686,885	745,041
有価証券	18,770	18,770
商品及び製品	145,819	180,693
その他	71,494	85,362
貸倒引当金	△592	△548
流動資産合計	1,135,402	1,221,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	99,518	106,624
土地	118,348	121,784
その他(純額)	36,315	36,632
有形固定資産合計	254,182	265,041
無形固定資産		
その他	14,093	11,307
無形固定資産合計	14,093	11,307
投資その他の資産		
投資有価証券	190,599	208,503
その他	24,916	30,446
貸倒引当金	△1,284	△928
投資その他の資産合計	214,232	238,021
固定資産合計	482,508	514,371
資産合計	1,617,911	1,735,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	869,647	951,378
短期借入金	2,500	34,500
1年内返済予定の長期借入金	5,950	4,277
未払法人税等	11,119	12,121
賞与引当金	8,445	4,059
返品調整引当金	600	598
その他	34,354	35,105
流動負債合計	932,617	1,042,040
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,529	30,415
長期借入金	3,908	994
債務保証損失引当金	170	173
退職給付に係る負債	19,754	19,465
その他	38,083	42,245
固定負債合計	92,445	93,294
負債合計	1,025,062	1,135,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,362	134,362
利益剰余金	321,242	340,227
自己株式	△30,469	△58,609
株主資本合計	447,533	438,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,408	74,689
繰延ヘッジ損益	2	4
土地再評価差額金	△14,027	△14,027
為替換算調整勘定	418	50
退職給付に係る調整累計額	△455	△420
その他の包括利益累計額合計	49,346	60,295
非支配株主持分	95,968	101,533
純資産合計	592,848	600,208
負債純資産合計	1,617,911	1,735,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,422,742	2,483,654
売上原価	2,245,806	2,304,321
売上総利益	176,936	179,332
返品調整引当金戻入額	607	600
返品調整引当金繰入額	644	598
差引売上総利益	176,899	179,334
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	60,696	58,724
福利厚生費	10,276	10,056
賞与引当金繰入額	3,975	3,916
退職給付費用	3,149	3,219
配送費	13,259	14,197
地代家賃	3,208	3,261
減価償却費	8,859	9,297
その他	33,186	33,807
販売費及び一般管理費合計	136,611	136,480
営業利益	40,287	42,853
営業外収益		
受取利息	145	141
受取配当金	2,086	2,206
情報提供料収入	5,855	5,969
不動産賃貸料	477	461
持分法による投資利益	1,033	1,788
その他	1,448	1,085
営業外収益合計	11,046	11,654
営業外費用		
支払利息	142	106
不動産賃貸費用	133	182
貸倒引当金繰入額	357	—
自己株式取得費用	10	110
その他	64	122
営業外費用合計	708	520
経常利益	50,626	53,987

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	58	178
投資有価証券売却益	117	253
受取保険金	172	—
その他	—	37
特別利益合計	349	469
特別損失		
固定資産除売却損	171	1,644
減損損失	—	839
災害による損失	254	—
事務所移転費用	0	295
その他	72	19
特別損失合計	498	2,798
税金等調整前四半期純利益	50,477	51,658
法人税、住民税及び事業税	17,092	22,073
法人税等調整額	△2,958	△5,505
法人税等合計	14,133	16,567
四半期純利益	36,343	35,090
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,072	7,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,270	27,633

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	36,343	35,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,122	11,362
繰延ヘッジ損益	15	2
退職給付に係る調整額	△39	39
持分法適用会社に対する持分相当額	△495	△160
その他の包括利益合計	△9,641	11,245
四半期包括利益	26,702	46,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,445	38,583
非支配株主に係る四半期包括利益	8,256	7,752

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式12,500,018株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が28,137百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,592,728	779,219	50,794	2,422,742	—	2,422,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,297	372	3	2,674	△2,674	—
計	1,595,026	779,591	50,797	2,425,416	△2,674	2,422,742
セグメント利益	18,225	20,464	1,387	40,078	209	40,287

(注) 1. セグメント利益の調整額209百万円には、セグメント間取引消去1,957百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,748百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,633,022	798,070	52,561	2,483,654	—	2,483,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,430	326	3	2,759	△2,759	—
計	1,635,452	798,396	52,564	2,486,413	△2,759	2,483,654
セグメント利益	21,447	19,389	1,646	42,482	370	42,853

(注) 1. セグメント利益の調整額370百万円には、セグメント間取引消去2,028百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,657百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(公正取引委員会による立ち入り検査について)

当社連結対象の完全子会社である株式会社メディセオは、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）を発注者とする医療用医薬品の入札に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、2019年11月、公正取引委員会による立ち入り検査を受けました。

当社といたしましては、株式会社メディセオとともに、この度の事態を厳粛かつ真摯に受け止め、公正取引委員会の検査に全面的に協力しております。今後開示すべき重要事項が発生した場合は、速やかに開示してまいります。